

NEWS RELEASE

2018年5月8日
株式会社三菱総合研究所

2018年1-3月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より5月16日(水)に公表予定の2018年1-3月期のGDP速報(1次QE)について予測を行った。

2018年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.0%(年率+0.0%)と予測する。消費や輸出の伸び一服を背景に、内需、外需ともに横ばいと予想する。

消費は、生鮮食品やエネルギーの価格上昇や、株価下落によるマインド悪化などが重石になったとみられ、前期比▲0.1%と減少を予測する。設備投資は、人手不足による自動化・省力化ニーズの高まりなどを背景に、同+0.4%と6四半期連続の増加を予想する。公的固定資本形成は、17年上期の大型経済対策の効果が徐々に剥落してきており、同▲0.8%と減少を見込む。

輸出は、17年下期の高い伸びの反動に加え、これまで輸出をけん引してきた半導体関連財が力強さを欠くことから、同▲0.4%と7四半期ぶりの減少を予測する。一方、輸入は、内需の伸び一服などから同▲0.7%と減少を見込む。

表 2018年1-3月期 GDP速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2017年			2018年
		4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP		0.6	0.6	0.4	0.0
	季調済前期比年率	(2.4)	(2.4)	(1.6)	(0.0)
民間最終消費		0.9	▲0.6	0.5	▲0.1
民間住宅投資		0.9	▲1.7	▲2.6	▲0.9
民間企業設備投資		1.2	1.0	1.0	0.4
民間在庫	寄与度	▲0.1	0.4	0.1	▲0.0
政府最終消費		0.2	0.1	0.0	0.2
公的固定資本形成		4.8	▲2.6	▲0.2	▲0.8
財・サービス輸出		0.0	2.1	2.4	▲0.4
財・サービス輸入		1.9	▲1.2	2.9	▲0.7
内需	寄与度	0.9	0.1	0.4	▲0.0
民需	寄与度	0.6	0.2	0.4	▲0.0
公需	寄与度	0.3	▲0.1	0.0	0.0
外需	寄与度	▲0.3	0.5	0.0	0.0
名目GDP		0.9	0.7	0.3	0.2
	季調済前期比年率	(3.6)	(2.7)	(1.1)	(0.9)
GDP デフレーター	前年同期比	▲0.3	0.2	0.1	0.4
国内需要 デフレーター	前年同期比	0.4	0.5	0.6	1.0

注：表中の実績値は、2017年10-12月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。

出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所 (<http://www.mri.co.jp/>)
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩 田中康就

電話:03-6705-6087 ファクシミリ:03-5157-2161 メール:morisige@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部 吉澤、渋谷、角田

電話:03-6705-6000 ファクシミリ:03-5157-2169 メール:media@mri.co.jp

本資料は、内閣府記者クラブおよび当社にてお付き合いのある記者の方々にもご案内しております。